

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：薬務水道費 目：薬務費

事業名【新】献血運動推進全国大会開催準備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 薬務水道課 生産指導監視係 電話番号：058-272-1111(内3435)

E-mail：c11224@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 4,000 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	4,000	0	0	0	0	0	0	0	4,000
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

- ・献血運動推進全国大会は、献血運動が全国で盛り上がり、我が国の血液事業を一層発展させるため、毎年、7月の「愛の血液助け合い運動」月間に行われている行事であり、令和6年(2024)年度に当県での開催が決定している。
- ・昭和40年に東京都において第1回大会が実施され、以降、毎年、全国持ち回りで開催されている。(県では昭和51年度「第12回大会」が開催されてから2回目)
- ・大会を成功させるため、令和5(2023)年度は、知事を会長とする県実行委員会を設立し、ポスター及び標語コンクール、大会運営に係るプロポーザル審査会、厚生労働省、宮内庁及び開催市長等関係機関との協議等を実施する。

(2) 事業内容

- ①実行委員会運営事業
大会開催に向けて、関係団体等で構成する実行委員会を設置
- ②献血啓発事業
・献血運動推進ポスターコンクール、標語コンクールの実施
- ③大会運営事業
・宮内庁、厚生労働省との協議
・大会総合企画者の決定
・前年度開催県(千葉県)の視察

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律（以下「血液法」という。）第5条において、献血の推進は地方公共団体の責務とされていることから、県負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	100	実行委員会設立準備会報償費
旅費	1,722	実行委員会設立準備会費用弁償、全国大会視察業務旅費等
需用費	338	消耗品費（事務用品等）、コンクール募集案内印刷製本費
役務費	277	実行委員会設立準備会案内郵送代、コンクール募集案内郵送代
使用料及び賃借料	100	会議室使用料
負担金補助及び交付金	1,463	献血運動推進全国大会実行委員会負担金
その他		
合計	4,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律

(2) 国・他県の状況

令和3年度開催 鹿児島県（新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止）
令和4年度開催 愛媛県（ハイブリッド形式により開催）
令和5年度開催 千葉県

(3) 後年度の財政負担

令和6年度（主催者）県60,000千円、日本赤十字社4,000千円、厚生労働省1,000千円（後援）開催市2,000千円

(4) 事業主体及びその妥当性

安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律（以下「血液法」という。）第5条において、献血の推進は地方公共団体の責務とされており、献血運動の展開、献血について県民に正確な情報を伝え、その理解と協力を得ることは県が取り組むべき事項とされている。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

令和6年度に本大会を開催することによって、県民の献血への意識、特に将来献血の担い手となる若年層の献血機運を高め、献血に参加する機会を創出することで、将来にわたる血液の安定的な確保を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
						%
						%

○指標を設定することができない場合の理由

献血運動推進全国大会を開催するための事業経費であり、具体的な目標を設定することができない。

（これまでの取組内容と成果）

令和3年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p>
令和4年度	<p>指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %</p>
令和5年度	<p>指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3: 増加している 2: 横ばい 1: 減少している 0: ほとんどない</p>	
(評価) 3	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により献血協力者が減少している。大会開催を通じて、県民の献血への関心を高め、県内の献血者数増加につなげていく。</p>
<p>・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3: 期待以上の成果あり 2: 期待どおりの成果あり 1: 期待どおりの成果が得られていない 0: ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価)	
<p>・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2: 上がっている 1: 横ばい 0: 下がっている</p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 県民に対する大会の周知や大会開催に向けて機運醸成を図っていく必要がある。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 大会の成功に向けて、関係団体との連携を密にしながら、「県民総参加によるオール岐阜の献血運動推進全国大会」となるよう、準備を進めていく。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	<p>【〇〇課】</p>